

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		環境美化関係事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健全		所属部	市民生活部
	施策	16	住環境の充実		所属課	環境衛生課
	業務分野	54	環境衛生の充実		所属班	環境衛生班
課長名		合志 義浩		担当者名		寺本 健志・吉原 裕人
担当内線		(内線)		1143		
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10116
法令根拠		合志市美しいまちづくり条例 合志市環境美化推進員設置要綱				
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	各区や学校、職員等による環境美化活動の推進を行っており、その一環として平成5年度より「くまもとみんなの川と海づくりデー」として市内の河川清掃を実施している。平成19年度より燃やすごみの減量化のため、各区の美化活動等で発生した枝草類を日野総合管理棟に搬入しており、平成21年度よりその受付窓口を環境衛生課に変更している。公園の枝草類の収集運搬については、都市計画課と連携して業務を実施しており、処理費は環境衛生課で負担している。 各区が管理しているごみステーションの清掃等をはじめ、ごみの適正分別を図るため、平成11年度より環境美化推進員制度を整え地域全体の環境美化に取り組んでいる。人口増加に伴うごみステーションの増加に伴い、環境美化推進員の果たす役割は増大している。 合志市豊岡(笹原区)にある空き地の所有者が廃棄物と思われるものを堆積させているため、美しいまちづくり条例に基づく指導・勧告・命令を行っている(平成26年1月に市職員で、令和2年1月に本人による撤去を行ったが、再度廃棄物と思われるものを持ち込まれている)。令和2年3月に当該廃棄物と思われるものは資源物であるとの弁護士判断により、市での行政代執行は行わないことを決定していたが、住民から苦情も出ていることから、今後も継続して所有者に対し撤去するよう指導していく。
【業務の流れ】	各区からの清掃活動受付・調整・実施後の処理事務、河川清掃活動の計画・実施、環境美化推進員向け説明会の実施、報償費支払事務、推進員活動用品の購入、美しいまちづくり条例に基づく指導、勧告、命令
【主な予算費目】	報償費、需用費(消耗品費・燃料費・食糧費)、役務費(通信運搬費)、委託料

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

令和6年8月3日に「くまもとみんなの川と海づくりデー」に伴う河川清掃を実施した(参加者数244人)。各区の公園・道路の美化活動等及び学校の愛校作業等で出た枝草の処理を行った(処理量:73,570kg)。環境美化推進員と連携し、年間を通じて地域の美化推進やごみの分別・減量に向けた取組みを行った。令和6年6月と令和7年3月に環境美化推進員会議を開催した。
 以上の成果として、地域の環境美化活動の推進に繋がった。

②7年度計画(次年度に計画している主要内容)

各区の清掃活動等によって発生する枝・草等の処分費の支払。また、熊本県下一斉清掃日に合わせボランティアや職員等により河川清掃などを行う。当該土地に堆積した廃棄物等の撤去・改善に向け、美しいまちづくり条例に基づく勧告、指導等を行っていく。
 令和7年度より環境美化推進員関係予算(報償費・役務費)を「10188ごみ処理及び収集運搬事業」に移管する。

③予算の主な増減の理由

環境美化推進員関係予算(報償費・役務費)をごみ処理及び収集運搬事業へ移管したことに伴う減

成果指標

ア	処分委託した枝草等の量	kg	データ取得方法
イ	河川等清掃活動に参加した人数	人	
ウ	環境美化推進員が実施した清掃活動等の延べ回数	回	環境美化推進員からの活動報告書による集計

(2)成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
成果指標	ア	kg	76,400	86,400	120,000	73,570	75,000	75,000	75,000	75,000
	イ	人	0	310	300	244	270	270	270	270
	ウ	回	156	156	1,600	1,738	1,600	1,600	1,600	1,600
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,738	1,948	7,370	6,342	2,841	2,841	2,841	2,841
(A)	事業費計	千円	1,738	1,948	7,370	6,342	2,481	2,481	2,481	2,481

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

河川清掃を開催し、職員をはじめ企業や市民の参加計244名に参加いただいた。次年度も引き続き職員をはじめ企業や市民の参加を募る。自治会清掃では現在、公園以外のボランティア活動で排出されたごみを自治会主体で分別・ごみステーションへの搬出をお願いしている。そのため、このようなごみも枝草とまとめて市に処分してもらいたいとの要望が挙げられている。環境美化推進員会議を開催し、新たな取り組みとして意見交換会を行った。推進委員同士の交流の場となり、続けて欲しいとの意見が多くあった。来年度も引き続き交流の場を設け、環境意識向上の機会とする。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)